

習志野市議会議員 新社会の会

藤崎ちさこ

市議会ニュース

2021年10月発行

習志野市袖ヶ浦

責任者 藤崎ちさこ

☎ 090-8312-7845



2021年9月市議会

新型コロナウイルス感染症

不十分な医療体制

新型コロナウイルス感染症の感染が確認されてから約1年9ヶ月経過してしまいましたが、日本国内でもワクチン接種が進行し、高齢者の接種はかなり浸透しました。

しかし一方、感染者の急増に医療体制が追い付いていません。自宅療養中、入院待機中に容態が急変し、救急車を呼んでも搬送できる病院がないというケースがたくさんあります。「国民の命を守る」、このための対策を一刻も早く取って欲しいと、国や自治体に求めます。

さて、習志野市議会は、9月1日に2021年第3回定例会が招集され、9月29日まで審議しました。今議会は、2021年度一般会計補正予算案2件、人権擁護委員人事案件3件、等の審議をしました。主な議案をご紹介します。

◎2021年度（R3年度）一般会計補正予算

【歳入歳出予算額】1億2,144万円

【歳出概要】

- ・ 私立幼稚園運営費等助成事業
696万円
- ・ 健康支援課 健康情報システム改修
878万円

- ・ 芝園清掃工場燃料コークス購入費
6,050万円
- ・ 秋津野球場の照明塔6本撤去
4,520万円

◎人権擁護委員の推薦

- ・ 人権擁護委員候補者として法務大臣に推薦することについて、意見を求めるもの。新任1名、再任2名。

◎損害賠償の額の決定及び和解についての専決処分報告

【事故の概要】

令和3年6月津田沼5丁目において、市所有の街路樹が風で煽られ、枯枝が落下し、信号で停車中の車両を損傷した。

【損害賠償額】

13万5,540円（修理費）

【専決処分日】

2021年（令和3年）8月11日

◎続いて、一般質問についてご報告します。

藤崎ちさこの一般質問

今回の一般質問は、6月議会と同様、新型コロナウイルス感染症対応のため、時間が短縮となりました。私の一般質問は次の通りです。

1、放課後児童会について

【質問1：藤崎】

コロナ禍の中、安心安全な保育のために現場では大変な運営をして頂いている。緊急事態宣言下、感染拡大防止のための利用自粛の協力は、どの位応じて頂けたのか、伺う。

【答弁：こども部長】

9月1日から12日の期間、約370人（約27.2%）の方に、自粛に協力していただいた。

【質問2：藤崎】

夏休み中、各児童会で工夫されたイベントを取り入れた運営が行われた。感染対策と児童たちの要望の両立は、大変なことである。どのように企画・実施したのか、伺う。

【答弁：こども部長】

例年行っている夏祭りでは、子どもたちが実行委員となり、職員とともに実施する内容を考え開催した。感染症対策を取りながら、みんなが楽しめる催しを企画した。部屋の換気・消毒、密にならないよう職員が気を配った。屋外の水遊びも、時間を区切り、入替えをして行った。

【質問3：藤崎】

支援員・補助職員のワクチン接種時や副反応時の休暇、ワクチンのキャンセルが出た場合の接種等の利用状況を伺う。

【答弁：こども部長】

職務専念義務免除の適用を受けてのワクチン接種は79人、余剰ワクチン接種の利用は43人。ワクチン接種のため職員が不足する場合の、勤務シフトの調整、相談員・その他の職員が応援に出向く体制を整えているが、これまでに2件対応している。

2、小中学校における学習用タブレット端末の活用について

【質問1：藤崎】

オンライン授業は、まだ始まったばかり。児童生徒・保護者は情報が少ない中で、登校とオンラインの選択をせざるを得ない。9月6日以降の状況を速やかに分析し、情報発信と取組みの改善を求めるが、いかがか伺う。

【答弁：学校教育部長】

学校では大型ディスプレイとタブレット端末を駆使し、登校を控えている児童はオンライン参加で同時に授業を受けた。不登校の児童も授業に参加できたようだ。オンライン授業は一定の成果があった。これらの状況を分析し、今後に活かしたい。

【質問2：藤崎】

児童生徒・保護者は、登校するかオンライン授業を受けるかの選択を1日で迫られた。何故、最悪の事態も想定した準備ができなかったのか、総括を伺う。

【答弁：学校教育部長】

どのような手段で子どもたちの安全を守り、学習を保障することができるのか、大変難しい判断。検討、校長会と綿密な打ち合わせを繰り返し決定した。案内が遅くなったこと、大変申し訳ない。今後、速やかな連絡に努める。

【要望：藤崎】

教育のIT化を、安心して平等な学びの保障に活用して欲しい。

3、習志野市における「子どもの権利条例」の制定に向けた取り組みについて

1989年、国連総会で子どもの権利条約が採択され、日本は1994年に条約を批准した。

2000年川崎市が「子どもの権利に関する条例」を制定し、現在までに約50自治体が「子どもの権利条例」を制定しているが、習志野市は未制定。昨今、いじめ・児童虐待・子供を巻き込んだ犯罪が多数発生している。今こそ「子どもの権利」について考え、尊重する必要がある。

条約 第31条 休息・余暇、遊び、文化的・芸術的生活への参加

第28条 教育への権利

【質問1：藤崎】

第24条 健康・医療への権利

本市には、子どもの医療費等助成制度があるが、子どもの権利条約には「人種や国籍によって差別されない」と謳っている。外国籍の子どもが増えている中、外国籍の子どもたちへの対応について、伺う。

【答弁：こども部長】

お子さんに係る出生時・転入時の申請手続きは、外国籍の方にも丁寧に説明。音声翻訳アプリ、電話通訳サービスを活用。

条約 第2条 差別の禁止

第12条 子どもの意見の尊重

第23条 障害のある子どもの権利

第3条 子どもの最善の利益

第20条 家庭環境を奪われた子の保護

【質問2：藤崎】

子どもが家族と暮らせなくなっても、幸せに育つための本市の取組みについて伺う。

【答弁：こども部長】

子ども家庭総合支援拠点での相談体制では、本市専門職員と児童相談所が連携。また、地域で里親家庭を支援している。

【質問3：藤崎】

本市における児童虐待の件数等、状況は？

【答弁：こども部長】

2020年度は585件、2019年度は511件。前年度比14.5%の増加。虐待の種別は、

心理的虐待41%、身体的虐待34%、ネグレクト（育児放棄）24%、性的虐待1%。虐待者は、母56%、父39%、他。

【要望】

人権教室、学校の授業で、子どもの時からしっかりと人権教育をして欲しい。本市もしっかりとした「子どもの権利条例」を制定し、それを事業計画の上に位置付け、「子どもの権利条例」の基本理念に基づいて事業計画を策定すべきと考える。きちんと基本理念を謳った「習志野市 子どもの権利条例」を制定するよう取組んで頂きたい。



議案・陳情に対する賛否の理由

【2021年度一般会計補正予算第5号】

前回幼児教育無償化の対象外であった「幼稚園類似施設」在園児の保育料の助成を含む予算であるため、賛成。

【人権擁護委員の推薦】

人権擁護活動推進のため、賛成。

【2021年度一般会計補正予算第6号】

コロナ禍の中小事業者の事業継続を支援するものであるため、賛成。

【辺野古新基地建設に反対する陳情2件】

沖縄県の米軍基地負担が過大であること、県民の声が十分に届いていないことは問題とする陳情であるため、賛成。

議案・請願・陳情に対する議員の賛否

所属会派	氏名	一般会計補正 予算第5号	人権擁護委員の 推薦	一般会計補正 予算第6号	辺野古新基地建設に 反対する2件の陳情
新社会の会	藤崎ちさこ	○	○	○	○
市民の会	宮内 一夫	○	○	○	○
日本共産党	谷岡 隆	○	○	○	○
	荒原ちえみ	○	○	○	○
	入沢 俊行	○	○	○	○
環境みらい	央 重則	○	○	○	○
	市角 雄幸	○	○	○	○
	中山 恭順	○	○	○	○
	市瀬 健治	○	○	○	棄権
民意と歩む会	木村 孝	○	○	○	○
	佐野 正人	○	○	○	○
	立崎 誠一	欠席	—	—	—
	宮城 壮一	○	○	○	○
都市政策研究会	平川 博文	○	○	○	×
真政会	荒木 和幸	○	○	○	×
	宮本 博之	○	○	○	×
	鮎川 由美	○	○	○	×
	斎藤 賢治	○	○	○	×
	佐々木秀一	○	○	○	×
公明党	小川利枝子	○	○	○	×
	清水 晴一	○	○	○	×
	布施 孝一	○	○	○	×
	真船 和子	○	○	○	×
	木村 孝浩	○	○	○	×
元気な習志野 をつくる会	田中真太郎	○	○	○	×
	関根 洋幸	○	○	○	×
	高橋 正明	○	○	○	×
	相原 和幸	○	○	○	×
	飯生 喜正	○	○	○	×
清水 大輔	議長	—	—	—	
結果		全員賛成 可決	全員賛成 可決	全員賛成 可決	11 : 16 否決